令和3年度
牟岐町における大学生による元民宿の建物利活用事業 実施報告

常三島技術部門
ものづくりグループ　　河村　勝（KAWAMURA Masaru）

１．はじめに

四国の右下の牟岐町は，1960年代から人口は右肩下がりで減少。1950年では10521人だったが，1965年に9190人となり1万人を切った。その後も少子高齢化のため減少し続け，2000年では5755人，2010年では4827人，2022年現在では3832人となっている。牟岐町は，2016年に「人口ビジョン」と「総合戦略」をとりまとめ「地方創生」を推進している。人口の増に直結する子育て支援，社会増に直結する移住，Uターン者の受け入れ，牟岐町への新しいひとの流れづくり，牟岐町で安心して働ける雇用の場づくり，住み続けたいと思える地域づくりなどに積極的に取り組んでいる。

そんな中，牟岐町で町活性化に関わっているＮＰＯ法人ひとつむぎ所属の徳大生を通じて，牟岐町から元民宿の建物利活用について，建築サークルＡＵＴ（アウト）にお声がかかった。2016年，今から5年前のことである。2年後の2018年度より，このプロジェクトは徳島県と牟岐町との地域連携事業である県南地域づくりキャンパス事業の支援を受けて進めている。徳島大学建築サークルＡＵＴ（顧問：小川宏樹教授,助言指導者：河村勝）学生と徳島大学建築計画研究室（小川研）学生とが関わり，著者はこのプロジェクトに助言指導者として学生たちと関わっている。今回，今までの活動と今年度の活動について報告する。

２．建物利活用について

建物の一部を土間空間とし，屋内に耐震シェルターを備えた作業場と屋外にウッドデッキを設けた。AUTのサテライトオフィスの提案である。やりたいことができる【Can】とサテライトオフィス【SO】の造語で【Canso】と名付けた。関係人口や交流人口を増やすためのイベントを考えている。さらに交流拠点の提案である。メンバーはリノベーションした作業場で家具などを製作，さらに交流拠点として使用できるよう整備を進める。整備をしながら並行にイベントも開催。もちろん，他団体の使用もできるように考えている。

３．今までの活動について

■2016年度（平成28年度）
・牟岐町からの依頼
・プロジェクト開始
・牟岐町訪問，建物調査（図1），建物計測等
・建物の図面作成（平・立・断面図）

図１　建物調査の様子

■2017年度（平成29年度）
・建物利活用について検討
・牟岐町で活動しているものづくり団体とワークショップ開催（意見交換）（図2）
・建物利活用案-1作成

図２　ものづくり他団体との WS の様子

■2018 年度（平成 30 年度）
・建物利活用について検討
・建物利活用案-2作成，活用案決定（作業場改修とウッドデッキ新設）
・実施設計

図３　建物利活用提案途中平面図

■2019年度（令和元年度）
・作業場改修工事
　地元の大工の指導を受けながら，学生自らが作業を進めた。

●WS-1：解体・撤去工事
　安全第一に工具等を使用し，床，壁，天井を撤去した（図4）。

図４　解体・撤去作業の様子

●WS-2：土間工事
　レベルを確認しダンプから運ばれた砕石を敷き転圧。その後，防水シート敷き，鉄筋を配筋，コンクリート打設をおこなった（図5，図6，図7）。

図５　レベル確認・砕石敷き作業の様子

図６　防水シート・配筋作業の様子

図７　コンクリート打設・金コテ作業の様子

●WS-3：内壁工事
　内壁のポイントとなる黒色の漆喰塗り体験をした（図8）。

図８　漆喰塗り作業の様子

●WS-4：耐震シェルター設置工事
　耐震シェルターを移設・設置（図9）。

図９　耐震シェルター設置作業の様子

●WS-5：ウッドデッキ工事
　作業場をつなぐウッドデッキ(図10, 図11)。

図１０　束石設置作業の様子

図１１　板材設置・曲線切出し作業の様子

■2020年度（令和2年度）

新型コロナウイルスが1月に発生した。交流イベントを計画していたが，止む無く中止。交流拠点の整備に専念した。

・コロナ終息後のイベントに向けた竹を使用したものづくり体験（竹流しそうめん，ハンモック）（図12，図13）

・テーブル，イス，銘板づくり（図14-図16）

・海岸清掃（図 17），浴室壁改修（図 18）

図１２　竹流しそうめん製作の様子

図１３　竹流しそうめん製作の様子

図１４　テーブルのボックス製作の様子

図１５　銘板製作の様子

図１６　テーブル，イス，銘板完成写真

図１７　海岸清掃の様子

図１８　浴室壁改修の様子

４．令和３年度の活動について

今年度も新型コロナウイルスの影響で思うように活動を進めることができなかった。整備をおこないながら，何とか令和 4 年 2 月に小学生を対象にものづくり体験を計画したが，コロナ感染急増のため中止を余儀なくされた。

・コロナ終息後のイベントに向けた竹を使用したものづくり体験（竹ランプシェード，筏，竹スピカー，竹照明，竹ハンガーラック，竹うま）（図 19，図 20）

・脱衣場壁改修

・ＢＢＱコンロ製作（図 21，図 22，図 27）

・中庭ウッドデッキ製作（図 23，図 24）

・ピザ窯製作（図 25）

・小学生対象ものづくり体験（図 26）

図１９　竹を使ったものづくりの様子

図２０　竹製品完成品

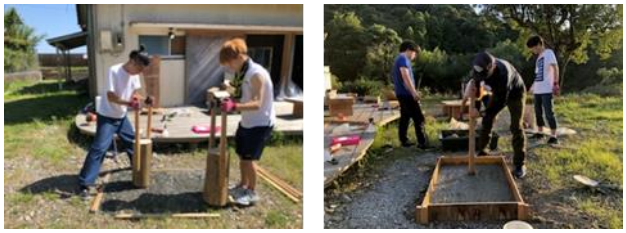

図２１　BBQコンロ製作の様子

図２２　BBQコンロ製作の様子

図２３　ウッドデッキ製作の様子

図２４　ウッドデッキ製作の様子

図２５　ピザ窯製作の様子

図２６　ものづくり体験フライヤー

図２７　全景

５．さいごに

今後もＡＵＴのサテライトオフィスとして，交流拠点として，整備を進めながら新型コロナウイルス感染が終息することを祈って，町の活性化に向けて活動を進める。この活動を牟岐町の方々に知っていただくため，さらにSNS を利用し広報活動も積極的におこない情報発信する。大学生が町で活動し続けることが重要で町に賑わいをと考えている。今後も牟岐町と相談しながら進めていく予定である。